

【令和8年度】
「第29回 げんでん科学技術振興事業」実施要領

(公財)げんでんふれあい茨城財団

1. 趣 旨

茨城県内の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校から、児童・生徒の科学技術に係る調査・研究計画を公募し、優れた計画に対し助成するとともに、優秀な調査・研究成果に対し、「科学技術振興大賞」、「同奨励賞」及び必要に応じ「同特別賞」を授与することにより、明日を担う児童・生徒の科学技術に関する独創性と豊かな創造性の育成を図る。

2. 主 催 (公財)げんでんふれあい茨城財団

3. 特別共催(予定) (株)茨城新聞社

4. 協 賛 日本原子力発電(株)

5. 後 援(予定) 茨城県教育委員会、茨城県教育研究会、茨城県高等学校教育研究会、NHK水戸放送局

6. 応募資格

茨城県内の小学校(義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部を含む。)、中学校(義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部を含む。)及び高等学校(中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含む。)の学校単位(児童・生徒のグループ、学級、部活動、同好会等)。

7. 調査・研究の対象

- (1) 小学校・中学校の部においては、理科を対象とする。
- (2) 高等学校の部においては、物理、化学、生物、地学、工業、農業、水産等の自然科学に関するものを対象とする。
- (3) 上記(1)、(2)のほか、科学する心の育成に役立っている研究、或いは地域社会の課題を捉えた調査・研究でもよい。
- (4) 調査・研究は、単一のテーマとする。

※ 複数の調査・研究テーマが含まれる総括的な調査・研究は対象外となります。応募された調査・研究について、事務局より内容の確認をさせていただく場合があります。

- (5) 同じテーマの継続については、発展性のある研究計画であること。

8. 応募方法

- (1) 応募は、学校が行うこと。応募件数は、1校で2件までを可とする。
 - ・ 定時制を有する高等学校は、全日制、定時制別に2件までの応募を可とする。
 - ・ 他機関が実施する理科・科学作品展等に応募を予定している場合でも、重複しての応募も可とする。
- (2) 応募は、記載例ー1に基づき、別紙1の書式により調査・研究計画書を作成(表裏の2頁以内を厳守)し、令和8年5月28日(木) [必着] までに財団事務局にメールにて提出すること。

〔提出先〕 (公財)げんでんふれあい茨城財団 事務局 宛

E-mail : genden-ibarakizaidan-sc@japc.co.jp

(今年度からアドレスが変更となっています。お気をつけください。)

提出後、1週間を過ぎても受領連絡がない場合は、事務局へお問い合わせください。

9. 応募期間 令和8年4月1日(水)から令和8年5月28日(木) [必着]

10. 調査・研究の内容

- (1) 理科をはじめとする理系各科目の学習やクラブ・部・同好会等の活動及び日常生活等を通して捉えた疑問や関心からの調査・研究が望ましい。(テーマは、地域の自然環境に関すること、地域社会に関すること及びエネルギーに関することが推奨される。)
- (2) 実施については、自然科学の探究の手順に則り、創意工夫と研究の積み上げがなされ、複数の児童・生徒が自主的に進められるものであること。
- (3) まとめについては、資料をよく精選し、写真や図表を活用し、客観的で正しい結論を得ているものを、児童・生徒の発想でまとめたものであること。

11. 助成対象校の選考及び内容

- (1) 助成対象校は、原則として20校程度とするが、小学校・中学校・高等学校の部毎に応募校数に応じて選考する。なお、助成は1校につき1件とする。
- (2) 選考は、茨城県教育庁、茨城県教育研究会理科教育研究部及び茨城県高等学校教育研究会の協力を得て、選考委員会を設置して行う。
- (3) 選考委員会により、助成校に選ばれた学校に対しては、校長に通知の上、助成金(10万円)を支給する。

12. 調査・研究成果の提出及び科学技術振興大賞、同奨励賞並びに同特別賞の授与

- (1) 助成を受けた学校(児童・生徒のグループ等)は、調査・研究計画書に基づき、調査・研究を行い、その成果の概要等を記載例-2に基づき、別紙2の書式により調査・研究成果報告書を作成(表裏の2頁以内を厳守)し、学校内で関係者への確認(校長名の押印は不要)を行い、令和8年10月27日(火)[必着]までに財団事務局に提出すること。

また、児童・生徒の取り組み状況や努力が分かるような主論文及び野帳等(活動日誌・データ他)を令和8年11月5日(木)[必着]までに提出すること。

- (2) 調査・研究成果報告書、主論文及び野帳等(活動日誌・データ他)を必ず提出すること。
各提出物が上記の各期限までに提出されないときは、大賞等の選考対象外になるとともに、場合によっては助成金の返還を求める場合があるので注意すること。なお、調査・研究成果報告書はメールでの提出も可とし、主論文及び野帳等は郵送すること。

- (3) 調査・研究の成果については、選考委員会において選考し、原則として、『げんでん科学技術振興大賞』(賞状及び賞金10万円等)を小学校・中学校・高等学校の部各1校に、『げんでん科学技術振興奨励賞』(賞状及び賞金5万円等)を小学校・中学校の部各2校、高等学校の部1校に授与する。また、『げんでん科学技術振興特別賞(賞状及び賞金5万円等)』に選考された学校があった場合は、同賞を同校へ授与する。

なお、表彰式(令和8年12月中旬に開催予定)において、大賞受賞校は調査・研究成果の発表を行うこととする。

【その他】

- (1) 主論文、野帳等(活動日誌、データ他)の提出物は、表彰式終了後返却させていただきます。
(2) 別紙1・2は、当財団ホームページ(<http://www.genden-ibarakizaidan.or.jp/>)の「事業内容」-「げんでん科学技術振興事業」よりダウンロードすることができます。

以上

【問い合わせ先】

(公財)げんでんふれあい茨城財団 事務局 近畑・飯塚

E-mail: genden-ibarakizaidan-sc@japc.co.jp (げんでん科学技術振興事業関係)

電話: 029-287-1251 FAX: 029-301-1512

住所: 〒310-0852 水戸市笠原町978-25(開発公社ビル5階)

日本原子力発電(株)東海事業本部地域共生部茨城事務所内

[計画書] 提出期限: 令和8年5月28日(木) [必着]

発信番号
年 月 日

公益財団法人 げんでんふれあい茨城財団殿

学校名: _____

(ふりがな)
校長名: _____ (公印省略)

[令和8年度] 第29回 げんでん科学技術振興事業の調査・研究計画書

調査・研究 計画の名称		調査・研究 項目の分類	理科一般、物理、化学、生物、 地学、工業、農業、水産、その他
調査・研究 グループ名		<small>ふりがな</small> 指導教員名 及び参加人員	名
調査・研究 期間	令和8年〇月 ～ 令和8年〇月	調査・研究計画 提出時期	令和8年5月28日(木)まで
<small>ふりがな</small> 所在地等	〒 _____ 電話 _____ FAX _____ (E-mail _____)		

1. 調査・研究計画の概要 (500字以内)

2. 調査・研究の目的

3. 調査・研究の方法

[成果報告書] 提出期限: 令和8年10月27日(火) [必着]

発信番号
年 月 日

公益財団法人 げんでんふれあい茨城財団殿

学校名: _____

(ふりがな)

校長名: _____ (公印省略)

[令和8年度] 第29回 げんでん科学技術振興事業の調査・研究成果報告書

調査・研究 計画の名称		調査・研究 項目の分類	理科一般、物理、化学、生物、 地学、工業、農業、水産、その他
調査・研究 グループ名		指導教員名 及び参加人員	名
調査・研究 期間	令和8年〇月 ～ 令和8年〇月	調査・研究成果 提出時期	令和8年10月27日(火)まで [主論文・野帳等(活動日誌・データ他)は、 11月5日(木)まで]
所在地等	〒	電話	FAX
		(E-mail)

調査・研究成果の概要 (1,000 字以内)

調査・研究内容を表すのにふさわしい
名称を記載する。

発信番号の文字を消して自校の発信番
号を記載する。

別紙 1

(記載例-1)

[計画書] 提出期限: 令和8年5月28日(木) [必着]

公益財団法人 げんでんふれあい茨城財団 〇〇町立 〇〇小学校 校長名: 〇〇〇〇 (公印省略)		発信番号 年 月 日	
[令和8年度] 第29回 げんでん科学技術振興事業の調査・研究計画書			
調査・研究 計画の名称	「〇〇〇の調査について」 または「〇〇〇の研究について」	調査・研究 項目の分類	理科一般、物理、化学、生物、 地学、工業、農業、水産、その他
調査・研究 グループ名	〇〇グループ、〇〇研究クラブ 〇〇部、〇〇チーム 等	指導教員名 及び参加人員	(指導教員名) 〇〇 〇〇 (調査・研究グループ人員) 〇〇名
調査・研究 期間	令和8年〇月 ~ 令和8年〇月	調査・研究計画 提出時期	令和8年5月28日(木)まで
所在地等	〒000-0000 〇〇市 〇〇町〇〇1-1 電話〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 FAX〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 (E-mail *****)		

1. 調査・研究計画の概要(500字以内)

〈計画書の提出先、方法〉
令和8年5月28日(木) [必着]にて当財団事務局宛に
 下記のメールアドレスへ E-mail にて提出してください。
 (公財)げんでんふれあい茨城財団 事務局
 E-mail : genden-ibarakizaidan-sc@japc.co.jp

【注意事項】
 ● 「1. 調査・研究計画の概要」は、**選考委員会や助成対象校に決定した場合の対外公表に使用**しますので、予めご承知おきください。

2. 調査・研究の目的

3. 調査・研究の方法

【注意事項】

- 本計画書は、表・裏2頁以内に取りまとめること。

発信番号の文字を消して自校の発信番号を記載する。

別紙 2

(記載例-2)

[成果報告書] 提出期限: 令和8年10月27日(火)[必着]

発信番号
年 月 日

公益財団法人 げんでんふれあい茨城財団

学校名: ^{ふりがな}○○○^{ふりがな}町立○○小学校

校長名: ^{ふりがな}○○○○ (公印省略)

[令和8年度] 第29回 げんでん科学技術振興事業の調査・研究成果報告書

調査・研究 計画の名称	「○○○の調査について」 または「○○○の研究について」	調査・研究 項目の分類	理科一般、物理、化学、生物、 地学 、工業、農業、水産、その他
調査・研究 グループ名	○○グループ、○○研究クラブ ○○部、○○チーム 等	^{ふりがな} 指導教員名 及び参加人員	(指導教員名) ^{ふりがな} ○○ ^{がな} ○○ (調査・研究グループ人員) ○○名
調査・研究 期間	令和8年○月 ～ 令和8年○月	調査・研究成果 提出時期	令和8年10月27日(火)まで [主論文・野帳等(活動日誌・データ他)は、 11月 5日(木)まで]
^{ふりがな} 所在地等	〒000-0000 ○○市 ○○町○○1-1 電話○○○-○○-○○○○ FAX○○○-○○-○○○○ (E-mail *****)		

調査・研究成果の概要 (1,000 字以内)

〈成果報告書等の提出先、方法〉

- ・調査・研究成果報告書は、**令和8年10月27日(火)[必着]**にて当財団事務局宛に下記のメールアドレスへ E-mail にて提出してください。
(公財)げんでんふれあい茨城財団 事務局
E-mail : genden-ibarakizaidan-sc@japc.co.jp
- ・主論文及び野帳等は、**令和8年11月5日(木)[必着]**にて当財団事務局宛に郵送してください。

【注意事項】

- 調査・研究成果の概要を、**1,000 字以内(厳守)**で簡潔に記載してください。
- **本概要は、新聞発表や外部公表時等に使用**しますので、予めご承知おきください。
- 調査・研究の実施内容、調査研究によって得られた成果等の**詳細は、児童・生徒の取り組み状況や努力が分かるように主論文にまとめ、野帳等(活動日誌・データ他)とともに必ず期限までに提出**してください。(提出されないときは選考対象外となります。)
- 調査・研究の実施内容が、**当初計画から変更となった部分は、その旨記載**願います。

- 本報告書を補完するために提出する資料を、レ印でチェックしてください。
()内には、資料の名称を記入してください。
- **主論文、野帳の提出は必須**です。(評価対象資料になります。)

- 本調査・研究成果の他機関での発表の有・無
(有の場合は**発表先を記載**ください。)

その他の 提出資料	<input type="checkbox"/> 主論文 <input type="checkbox"/> 野帳 <input type="checkbox"/> その他()
他機関での 発表の有無	<input type="checkbox"/> 有 … [(発表先)] <input type="checkbox"/> 無
参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校以外の協力機関及び文献・知見・ウェブ情報等があれば記載してください。